

Corporate Social Responsibility Report

CSR報告書2025

 朝日印刷株式会社



Contents

- CSR方針 2
- ご挨拶（トップメッセージ） 3
- 朝日印刷グループ経営理念・中期経営計画 4
- 会社情報・拠点一覧 6
- 事業内容 7
- 事業の状況 8
- 連結業績ハイライト 9
- 特集記事
 - ・CSRトピック 10
- 朝日印刷のCSRテーマ
 - ・お客様満足の上昇 12
 - ・従業員満足の上昇 14
 - ・公正で透明性の高い経営 16
 - ・次世代へ受継ぐモノ作り 18
 - ・社会との調和 20
- 事業関連データ 22

CSR方針

お客様満足の上昇	私達は、美と健康に関わる包装資材の製造を中核事業として責任ある供給体制を構築し、お客様のニーズを上回る製品・サービスの提供を行うことでお客様の感動を獲得します。
従業員満足の上昇	私達は、従業員が安心して働くことができる、安全・健康に配慮した職場環境を整備し、従業員の意欲向上につながる制度や人材開発のための教育体系を整備することで、従業員満足の上昇を推進します。
公正で透明性の高い経営	私達は、上場企業として企業倫理の徹底をはじめ、内部統制を整備し、公平で透明性の高い経営を推進します。
次世代へ受継ぐモノ作り	私達は、美しい地球を守ることの重要性を認識し、環境保全を意識したモノ作りを継続的に取り組みます。
社会との調和	私達は、美と健康に関する包装事業を通じ、豊かで快適な生活文化の創造に寄与する活動に参加することで企業使命を果たしていきます。



ご挨拶（トップメッセージ）



現在、世界を取り巻く情勢は目まぐるしく変化しております。ロシア・ウクライナ情勢やイスラエルのガザ侵攻など海外情勢は依然として予断ならない状況です。

環境面においては、気象庁発表の日本の平均気温及び平均海面水温が、昨年引き続き統計開始以来の最高記録を更新しました。また、WMO（世界気象機関）の発表でも、2024年の世界の平均気温が昨年に引き続き観測史上最も高い記録であったと報じられました。

さらに、アメリカのトランプ政権のパリ協定離脱などもあり、世界の環境動向を注視していく必要があります。

当社の事業の中心である医薬品業界や化粧品業界からも、温暖化の原因となるCO₂排出量の削減への取り組みが製品以外の付加価値として評価される場面が以前にも増して高まっております。

この様な環境の中、当社ではCO₂削減活動の一環として2023年より富山地区の生産拠点敷地内に太陽光発電設備を導入し、当社の事業活動における環境への負荷低減に貢献してまいりました。また、GHG排出量の算定、海外外部評価機関への環境情報開示など当社としてできることを確認しながら推進しております。

また多様化する環境ニーズにも対応し、当社では竹とバガスなどの非木材を主原料に用いた立体成形品のパルプモード、プラスチックフィルムを用いない紙製の袋包材、石油由来原材料の使用量を削減したバイオマス素材クリアカートンやPET 蒸着パッケージなど、環境に配慮した新製品の提案も継続しております。また、森林認証紙の使用やごみの減量化につながる簡易廃棄パッケージ、希少でデリケートな医薬品の保護には、我々の得意とするパッケージの構造提案により、緩衝材無しでも衝撃に耐えうるよう瓶が宙に浮く構造の製品などの提供も行っております。今後も技術と工夫でニーズに応え、期待以上の「環境貢献」と「感動」を提供する企業でありたいと考えております。

引き続き、様々な変革にチャレンジすることで難局を乗り越えるとともに「不易流行」の精神にて、お客様本位を基本とし企業の永続成長と従業員の幸福とが一致する経営を目指します。

「包むところを大切にし、安心・安全と美を追求した商品・サービスを提供する」というミッションのもと、朝日印刷はこれからも社会に貢献し、新しい時代に即した価値を創出してまいります。長い歴史で培ってきた知見と信頼を礎に、さらなる発展を目指し、変化を先取りしながら歩みを続けていく所存です。

今後とも皆様の変わらぬご支援とご指導をよろしくお願いいたします。

2025年7月

代表取締役社長 **朝日 重紀**

朝日印刷グループ経営理念・中期経営計画

朝日印刷グループ経営理念

当社グループは2022年4月に迎えました創業150周年を機に新たな経営理念を掲げております。

お客様本位を最優先としつつ、会社の発展だけを優先した経営でなく従業員が仕事にやりがいと幸せを感じて成長しそれを会社の成長につなげていく。

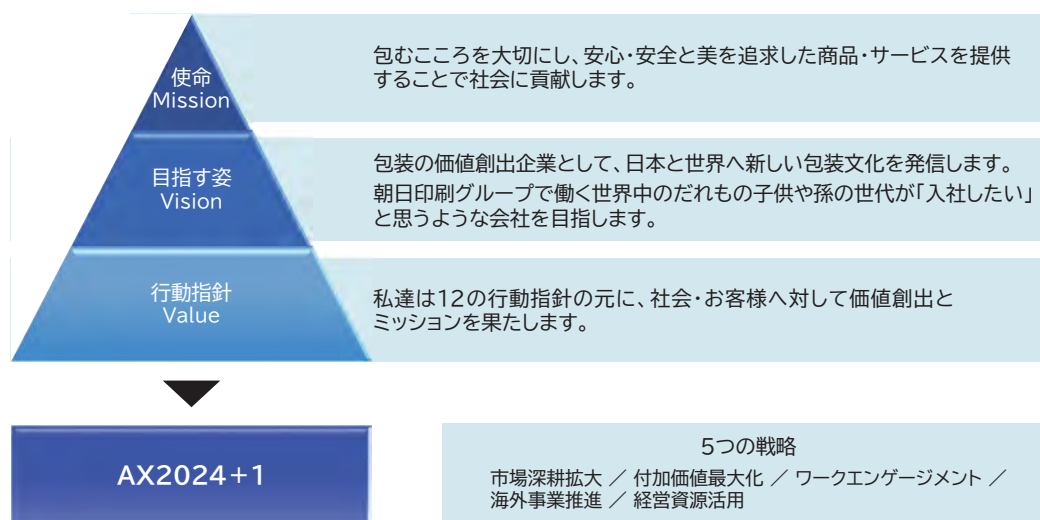
これは朝日印刷で代々受け継がれてきた企業精神です。

経営理念

お客様本位を基本とし、
企業の永続成長と従業員の幸福とが一致する経営を目指します。

朝日印刷グループの使命と目指す姿

当社グループの社会へ果たすべき信念を「使命：Mission」、朝日印刷の追求する理想像を「目指す姿：Vision」、そしてグループ共通の「12の行動指針：Value」を定めております。これらに基づき、朝日印刷グループ社員が一丸となってお客様への貢献と社会の発展に寄与するとともに企業のアイデンティティの発信に努め、企業価値の向上と持続的成長を図ってまいります。



中期経営計画 AX2024+1

当社グループでは2022年度から中期経営計画AX2024（朝日トランスフォーメーション2024）を推進しております。

2024年度を最終年度とする中期経営計画AX2024において「市場深耕拡大」「付加価値最大化」「ワークエンゲージメント」「海外事業推進」「経営資源活用」の5つの事業戦略を推進してまいりましたが、各施策の進捗において更なる取り組みの余地が残されていると判断し中期経営計画AX2024を1年間延長することといたしました。

「包むところを大切に新たな第一歩を」をスローガンに中期経営計画AX2024+1の施策を完遂することで、お客様へ対して包装の揺るぎない付加価値を創出し、朝日印刷グループ全体の企業価値向上に努めてまいります。

「AX2024+1」 5つの戦略

市場深耕拡大	医薬・化粧品市場の戦略的シェア拡大と新しい事業領域への挑戦
付加価値最大化	仕事の最大効率化とお客様への付加価値を極める
ワークエンゲージメント	Asahiグループ全従業員が仕事に対して夢とプライドを持ち最高のパフォーマンスを発揮できる体制を構築する
海外事業推進	富山から全世界に向けてASEAN事業拡大と次の市場進出戦略
経営資源活用	Asahiグループ全ての資源・技術を結集しグループ事業全体で最大の力を発揮させる

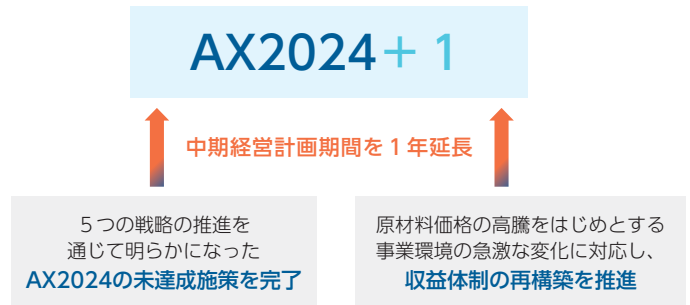
特集

□ AX2024 + 1

AX2024の完遂と次期中期経営計画の土台作りを推進する1年に

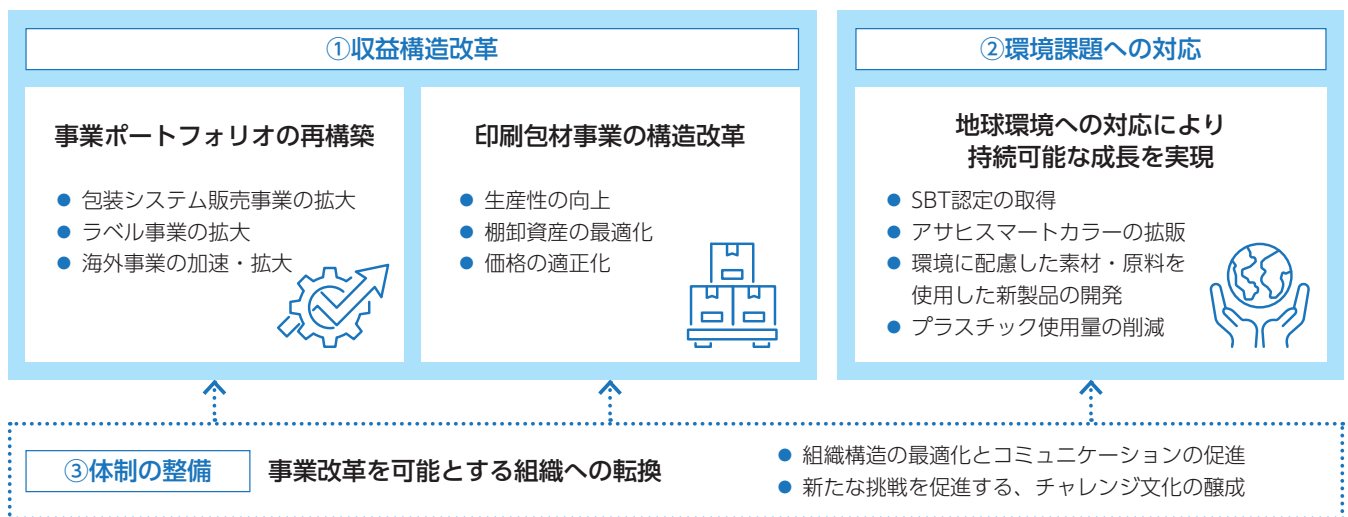
「市場深耕拡大」、「付加価値最大化」、「ワークエンゲージメント」、「海外事業推進」、「経営資源活用」の5つの戦略を継続して実行することで企業として次のステージを目指していきます。

特に原材料価格高騰等の事業環境の変化にも動じないモノづくり体制をはじめとした収益体制の再構築が必要であり、推進体制も含めた抜本的な改革により次期中期経営計画に繋げるための土台づくりを着実に進めてまいります。



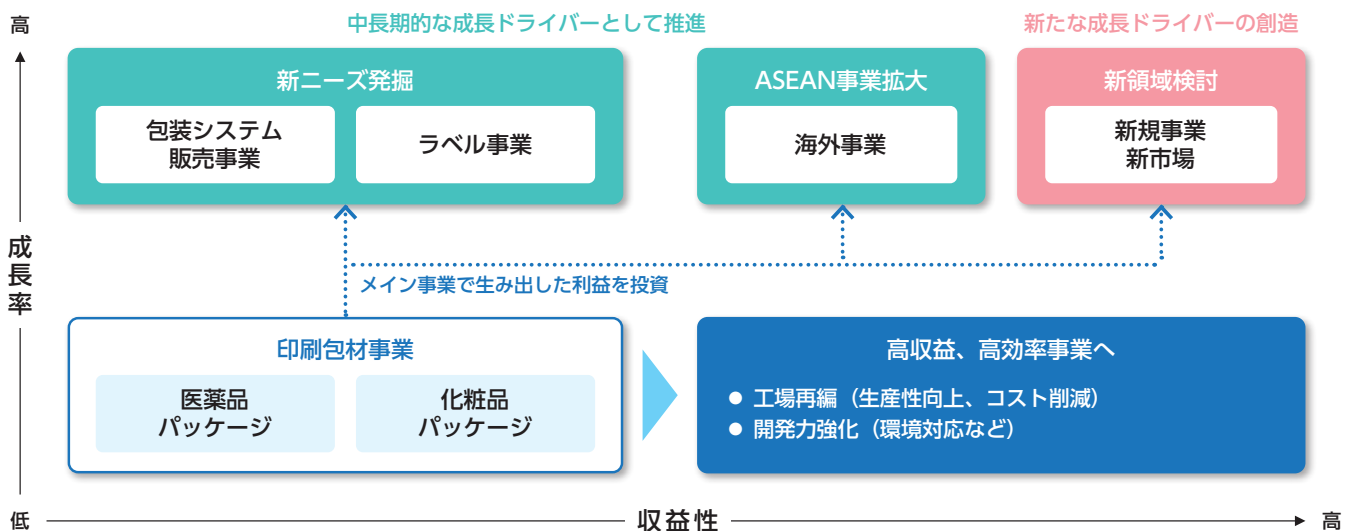
□ AX2024 + 1 重点施策の全体像

収益体制の再構築に向けて事業と組織の整備を推進



□ 事業ポートフォリオの展開

メイン事業の収益性向上と成長ドライバーへの投資・育成を推進



会社情報・拠点一覧

会社情報 (2025年 3月31日現在)

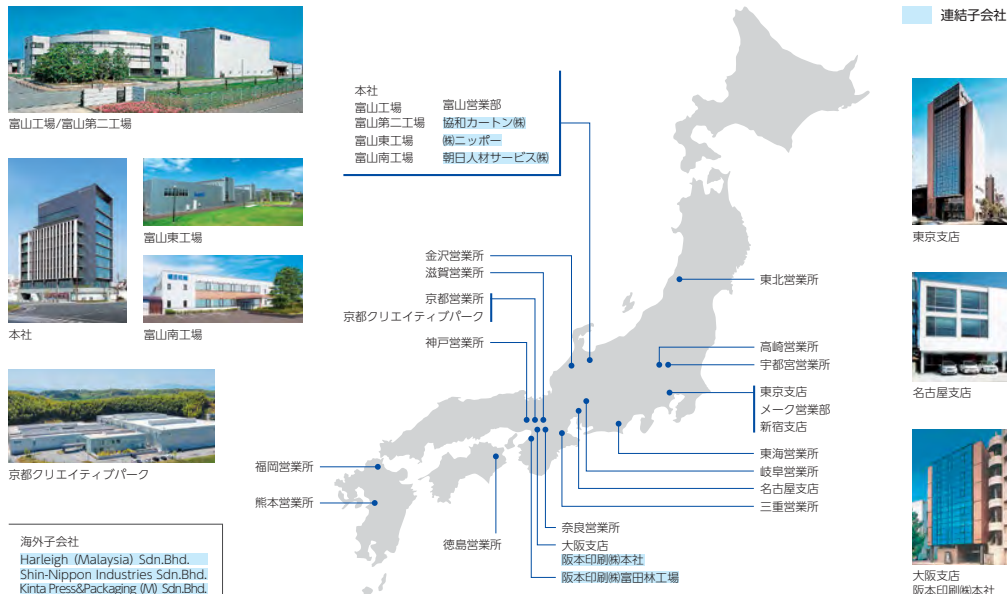
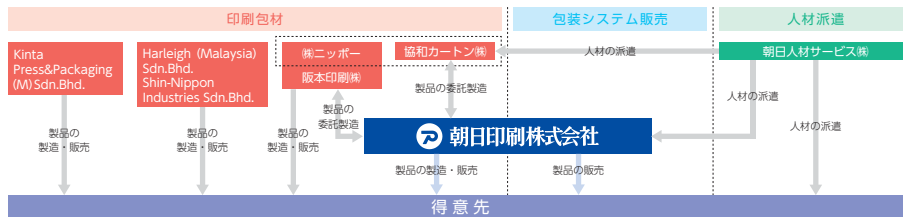
会社名	朝日印刷株式会社
本社所在地	〒930-0061 富山県富山市一番町1番1号 一番町スクエアビル
TEL	076-421-1177(代)
URL	https://www.asahi-pp.co.jp/
主な事業内容	印刷・包装資材の企画、製造、販売、包装システム販売事業
設立	1946年 5月
資本金	22億2,875万円
株式	東京証券取引所スタンダード市場
決算	年1回、3月
代表者	代表取締役社長 朝日 重紀
社員数	1,850名(有期社員・パートおよび派遣社員は除く)

拠点一覧 (2025年 7月 1日現在)

営業拠点 (事務所含む)	東京支店 (東京都台東区) 名古屋支店 (愛知県名古屋市北区) クリエイティブセンター/富山営業部 (富山県富山市) メーク営業部 (東京都中央区) 東北営業所 (山形県山形市) 高崎営業所 (群馬県高崎市) 金沢営業所 (石川県金沢市) 三重営業所 (三重県津市) 奈良営業所 (奈良県橿原市) 神戸営業所 (兵庫県神戸市) 熊本営業所 (熊本県熊本市)	大阪支店 (大阪府大阪市北区) 新宿支店 (東京都新宿区) 東京クリエイティブオフィス (東京都台東区) 宇都宮営業所 (栃木県宇都宮市) 東海営業所 (静岡県富士市) 岐阜営業所 (岐阜県岐阜市) 滋賀営業所 (滋賀県甲賀市) 京都営業所 (京都府京都市) 徳島営業所 (徳島県徳島市) 福岡営業所 (福岡県福岡市) 富山東工場 (富山県富山市) 京都クリエイティブパーク (京都府木津川市)
工場	富山工場 (富山県富山市) 富山第二工場 (富山県富山市) 富山南工場 (富山県富山市)	
物流センター	富山SCMセンター (富山県富山市)	

グループネットワークと全国に広がる販売網でニーズにお応えいたします

朝日印刷グループ



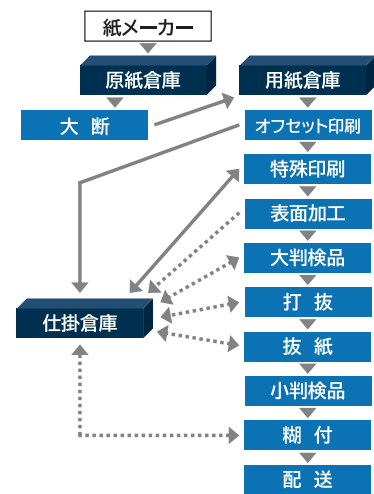
資材調達・製品開発

- ・印刷包材等の製造に必要な、「紙」、「インキ」、「塗料」、「糊」などの資材を、各種メーカーや商社より調達しています。
- ・様々なメーカーのご協力のもと、当社オリジナルの資材の開発を共同で実施し、当社独自の印刷資材によって製品の差別化を行っています。



印刷・包装資材の製造

- ・製品の品質向上と生産の効率化を実現するため、すべての工場で一貫生産体制を整えています。資材の投入から印刷・加工・打抜・糊付・梱包までの全工程を同一工場内で行うことで、統一された品質基準、環境管理下での生産が可能になるとともに、製品に対するお客様の様々なご要望に、柔軟かつスピーディな対応ができる体制となっています。
- ・常に高い品質と生産性を追求するため、最新鋭の生産設備やシステムを積極的に導入しています。それらの多くは、よりの確にお客様のニーズに応えるために自社開発、あるいは社外との共同開発によって最適化された「朝日印刷オリジナル」仕様。たとえば、東工場に導入されている枚葉オフセットコンビネーション多色印刷機は、高度な意匠や多様な表現が求められる化粧品パッケージの生産を、より効率的に、安定した品質で実現するためにメーカーと共同開発した日本初の印刷機です。その他にも、デジタルデータ照合校正とそれに伴う印刷データ管理に自社開発のシステムを使うなど、各工程で独自の品質追求を進めています。

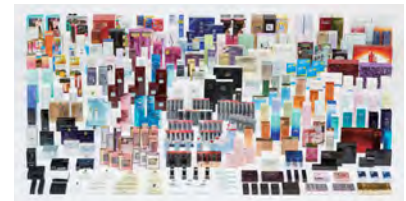


【一貫生産のチャート図】

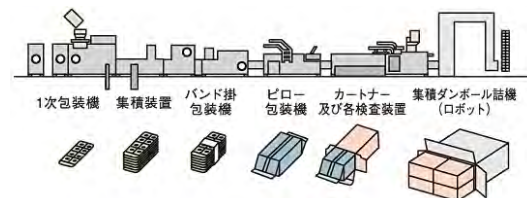


お客様

- ・医療用医薬品パッケージ、OTC医薬品パッケージ、化粧品パッケージなどお客様の様々なニーズにお応えするパッケージを提供しています。



- ・2000年より包装システム販売部を立上げ、各種製品の包装に使われる包材だけではなく、包装機械をはじめとした包装ライン全体をトータルにご提案しています。お客様のご要望を実現しながら自動包装に適したパッケージの開発と、その包装に最適化したラインエンジニアリングを行い、「包材から包装までのすべて」をお任せいただくことが可能となっています。



事業の状況

経営方針、経営環境及び対処すべき課題等

経営方針

朝日印刷グループ経営理念

当社グループは、2022年4月に迎えた創業150周年を機に以下の新たな経営理念を掲げております。

「お客様本位を基本とし、企業の永続成長と従業員の幸福とが一致する経営を目指します。」

これはお客様本位を最優先としつつ、会社の発展だけを優先した経営ではなく、従業員が仕事にやりがいと幸せを感じて成長し、その結果が会社の成長につながっていくという、朝日印刷で代々受け継がれてきた不易流行の精神です。

「朝日印刷グループの使命と目指す姿」

当社グループの「使命：Mission」は包むころを大切に、安心・安全と美を追求した商品・サービスを提供することで社会に貢献することを信念としています。また、朝日印刷グループの「目指す姿：Vision」で示す理想の追求により、朝日印刷のあるべき姿を目指していきます。グループ共通の「12の行動指針：Value」で、従業員それぞれが指針に基づいた活動を推進していくことにより、お客様への貢献と社会の発展に寄与するとともに企業のアイデンティティの発信にも努め、企業価値の向上と持続的成長を図ってまいります。

経営上の目標の達成状況を判断するための客観的な指標等

2026年3月期の経営数値目標

- ・売上高：450億円
- ・営業利益率：5.0%
- ・連結配当性向：40%以上

経営環境並びに事業上及び財務上の対処すべき課題

市場を取り巻く環境は、雇用・所得環境が改善するなか、各種施策の効果もあり緩やかな回復基調で推移しました。一方で、資源価格の高騰や物価上昇に加え、欧米における高い金利水準の継続や通商政策など米国の政策動向、不安定な国際情勢による地政学的リスクの高まりなど依然として先行き不透明な状況が続いております。

印刷包材事業におきましては、過去に例の無い継続的な原材料価格の高騰が続いております。また、廃インキの少ない印刷技術、リサイクル紙の使用等、サステナブルな製品・サービスのニーズが年々高まっており、当社グループを取り巻く環境は大きく変化しております。

（中期経営計画の延長について）

朝日印刷グループでは、2024年度を最終年度とする中期経営計画A X 2024において、「市場深耕拡大」「付加価値最大化」「ワークエンゲージメント」「海外事業推進」「経営資源活用」の5つの戦略を推進してまいりましたが、各施策の進捗において、更なる取り組みの余地が残されていると判断いたしました。

また、昨今の当社を取り巻く事業環境が著しく変化する中で、収益体制の再構築が必要であり、これを実現するための次期中期経営計画の策定と計画の遂行のため、十分な検討期間と体制整備が必要であると判断し、中期経営計画A X 2024を1年間延長することといたしました。

2025年度は「A X 2024 + 1」として5つの事業戦略を確実に実行することで、売上に左右されない利益確保に加え、体質改善、体力強化を図り企業価値の向上に取り組んでまいります。

「A X 2024 + 1」の5つの戦略の取り組みは、次のとおりであります。

1. 市場深耕拡大

- ・全国営業拠点における、得意先ニーズへの迅速な対応・営業活動によるシェア拡大の推進
- ・ラベル事業拡大のため高機能ラベルの開発、高品質ラベルの販促活動を推進

- ・包装システム販売事業において、エンジニアリング機能を強化し付加価値の高い独自提案の実施
- 2. 付加価値最大化
 - ・生産性向上に向けた、省力化・少人化設備の導入
 - ・IOTを活用した設備稼働状況の見える化による、ムダ排除の取り組みの推進
 - ・AIを活用した品質不良判定技術構築により、品質について更なる高みを目指す
- 3. ワークエンゲージメント
 - ・ダイバーシティ推進（女性管理職比率アップ、シニア世代活躍、障がい者支援）
 - ・従業員の成長支援（新たな教育プログラムとして語学支援、海外留学制度を新設）
 - ・働きやすい環境整備
- 4. 海外事業推進
 - ・Shin-Nippon Industries Sdn.Bhd.の新工場建設プロジェクト（2026年度稼働予定）
 - ・国内外のグループ会社での連携した営業提案活動等によるシナジーの創出
 - ・海外子会社とのグループ会社間での技術交流の実施及びグローバルリーダーの育成強化
- 5. 経営資源活用
 - ・カーボンニュートラル社会の実現に向けた、CO₂算定システムを用いた削減目標の設定
 - ・人材育成並びにグループ内の人材交流実現に向けた制度構築の推進
 - ・資産効率の最大化を図る

事業等のリスク

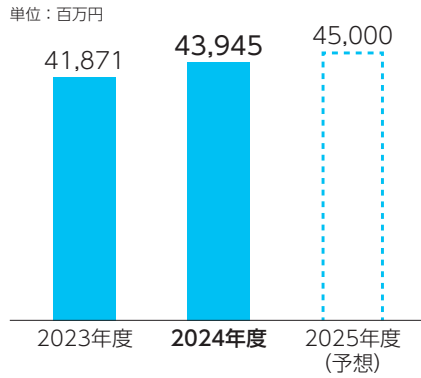
当社グループの事業その他に関するリスクについて、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性があると考えられる事項を記載しております。当社及び当社グループ各社は、これらのリスク発生の可能性を認識したうえで、発生の回避や発生した場合の対応に努める所存であります。

- ①経済状況の変化
- ②取引先が特定の業種に偏重していること
- ③特有の法的規制及び製品の不具合が生じた場合の責任
- ④新製品及び新技術に係る商品化
- ⑤知的財産権の侵害
- ⑥原油価格や為替レート等の変動
- ⑦原材料の供給状況による影響
- ⑧環境に関する法的規制
- ⑨設備投資
- ⑩情報セキュリティ
- ⑪電力の供給状況による影響
- ⑫地震等の災害
- ⑬海外事業展開
- ⑭のれんの減損
- ⑮感染症対策
- ⑯地政学的リスク
- ⑰人材の確保

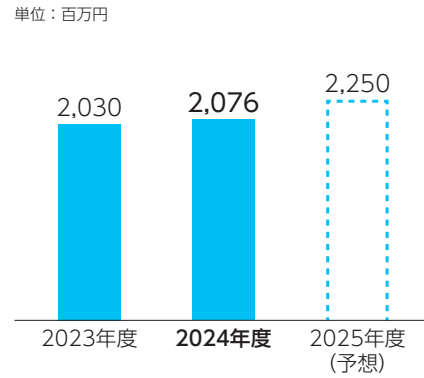
詳細につきましては、弊社の有価証券報告書（第109期）をご確認ください。

連結業績ハイライト

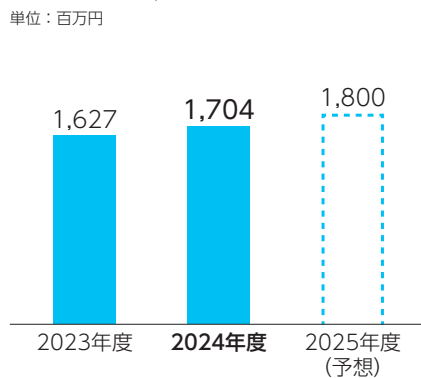
売上高
439億45百万円



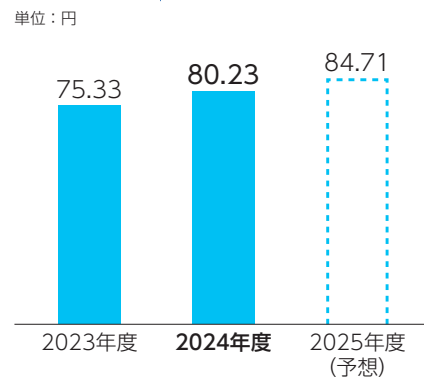
営業利益
20億76百万円



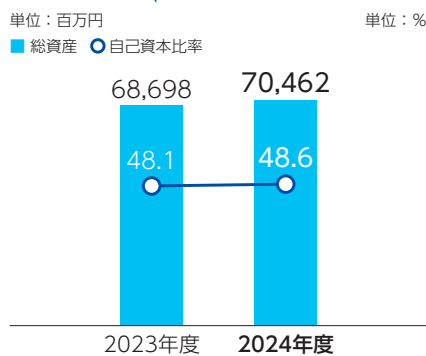
親会社株主に帰属する当期純利益
17億4百万円



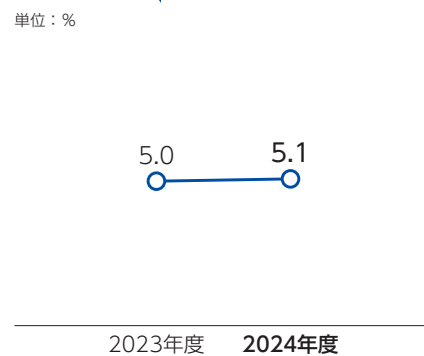
1株当たり当期純利益
80.23円



総資産／自己資本比率
自己資本比率 48.6%



自己資本利益率 (ROE)
5.1%



取組紹介

●GHG排出量の算定

当社では長年に渡り、省エネ活動及びCO₂排出量の把握・管理に取り組んでまいりました。

2022年度よりCO₂算定システムを導入し、Scope 3の算定も開始しました。今後はサプライチェーン全体で連携し、適宜削減目標の設定や削減施策の立案・実行を行い、Scope 1, 2, 3のCO₂排出量の削減を推進してまいります。

※サプライチェーン排出量…原材料調達・製造・物流・販売・廃棄など、一連の流れ全体から発生する温室効果ガス排出量のこと

Scope 1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出（燃料の燃焼、工業プロセス）

Scope 2：他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出

Scope 3：Scope 1、Scope 2 以外の間接排出（事業者の活動に関連する他社の排出）で、15のカテゴリに分けられる

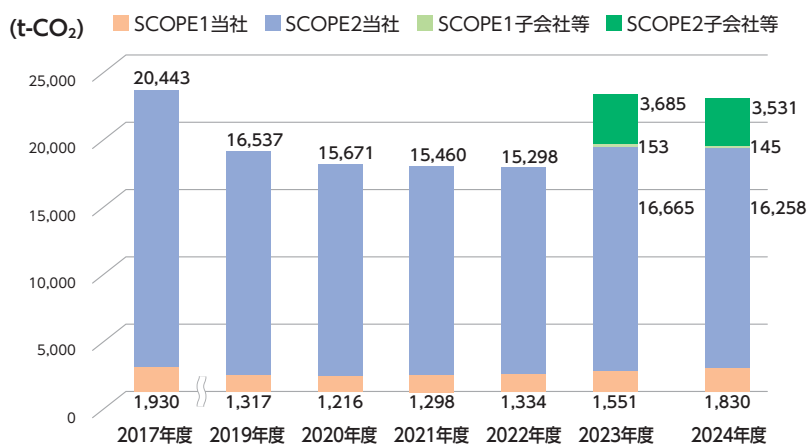
●排出量算定について - グリーン・バリューチェーンプラットフォーム | 環境省 (env.go.jp)

https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/estimate.html

Scope 1

Scope 2

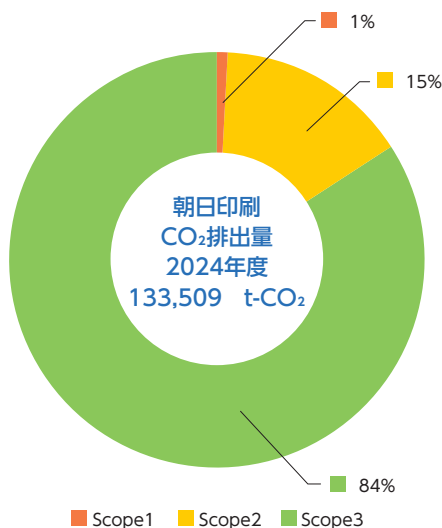
中期経営計画AX2024+1の目標の1つにCO₂ -25% (Scope 1, Scope 2のみ、2017年度比) を掲げ、日々省エネ活動に取り組んでおります。



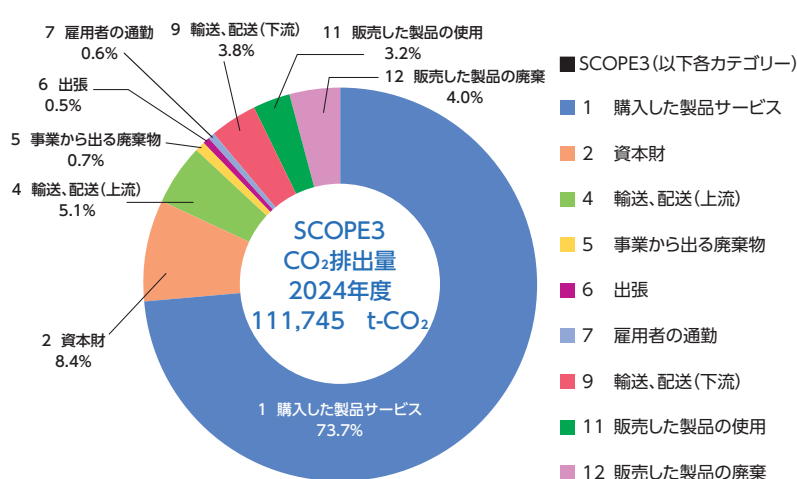
Scope 3

2024年度のScope 3を算定しました。その結果、当社総排出量に占めるScope 3の割合が84%であり、中でも「カテゴリ1：購入した製品サービス」の排出量割合が高いことが分かりました。

↓総排出量内訳



↓Scope 3内訳



再生可能エネルギーの導入状況

当社では、2024年3月より持続可能な社会の実現に向けた取り組みの一環として北陸電力グループの北陸電力ビズ・エナジーソリューション株式会社とオンサイトPPA契約（※）を締結し、太陽光発電設備を稼働させています。

富山南工場敷地内の富山SCMセンター屋根部分に設置しており、太陽光から発電した電力を敷地内で自家消費しています。このような再生可能エネルギーを使用し引き続き持続可能なカーボンニュートラル社会の実現を推進してまいります。

（※）オンサイトPPAとは自家消費型 太陽光電力契約のことを指します。

オンサイトPPA概要

設置場所	朝日印刷 富山SCMセンター（富山市婦中町板倉）
発電開始日	2024（令和6）年3月1日
契約先	北陸電力ビズ・エナジーソリューション株式会社
2024年度 自給率平均	17.2%
2024年度 発電量	約500Mh/年
2024年度 CO ₂ 削減量	211.6t/年



取組紹介

●外部認証・評価機関対応

様々な外部認証機関・サステナビリティ評価機関への回答対応をしています。



EcoVadis社 サステナビリティ調査

「ブロンズメダル」を取得しています。

CDP 環境情報開示

気候変動 D
の評価を受けています。

Sedex サプライチェーン サステナビリティ調査

富山工場・東工場の2つを
サイト登録しています。



CSRテーマ お客様満足の上

私達は、美と健康に関わる包装資材の製造を中核事業として責任ある供給体制を構築し、お客様のニーズを上回る製品・サービスの提供を行うことでお客様の感動を獲得します。

課題	2024年度目標	2024年度実績	評価	2025年度目標	
品質向上によるクレーム低減	①当社工場における不良発生件数の削減	17.5%削減 (昨比)	15.6%減 (昨比)	○	5.8%削減 (昨比)
	②改善提案・小集団活動実施	各職場の目標件数	一部未達	△	各職場の目標件数
得意先の付加価値向上に向けた開発品の採用	①開発品採用点数、上市点数	採用 3 件・上市 7 件	採用 2 件・上市 6 件	△	採用 4 件・上市 11 件
	②工業所有権(特許・実用新案等)出願件数	出願件数 10 件	出願件数 8 件	○	出願件数 8 件
BCP対応の推進	①整備・見直し	セキュリティ保全強化 物流問題対応	情報セキュリティ委員会発足 物流問題対応は検討に留まる	△	情報セキュリティポリシーの策定と施行
サステナビリティ外部認証機関への参加	①CSR・サステナビリティ対応部署開設	子会社のCSR対応窓口設置	一部海外子会社にCSR対応部署設置	△	CSR対応部署の拡充
	②CDP・EcoVadis評価向上	CDP(気候変動) B- CDP(森林) C CDP(水) C EcoVadis シルバーメダル取得	CDP(気候変動) D CDP(森林) C CDP(水) C EcoVadis ブロンズメダル	×	CDP(気候変動) C CDP(森林) C CDP(水) C EcoVadis シルバーメダル取得

「評価方法について」表における数値の評価は、実績値と目標値の比率によるものとなります。(○：80%以上、△：50%以上～80%未満、×：0～50%未満)

品質向上への取り組み

品質基本方針

包むところを大切に、お客様へ満足していただける商品・サービスを提供する。

当社は、お客様との取決め事項を順守し、常にお客様の立場に立って「包むところを大切に」ものづくりとサービス提供を行うことを目指して、これからも品質マネジメントシステムの見直しを続けていきます。

お客様目線に立って、そのような仕組み作りを自ら点検しながら、ご満足していただける商品を永続的にお届けするとともに、新たな付加価値をご提案し続けることにより、お客様から「選ばれ続ける企業」を目指します。

ISO9001：2015認証取得

当社は、1999年3月にISO9001認証を取得し、早くから品質マネジメントシステムを構築しています。これからも品質向上を進めていくためにISO9001認証を維持し、品質マネジメントシステムの見直しを継続的に進めていきます。

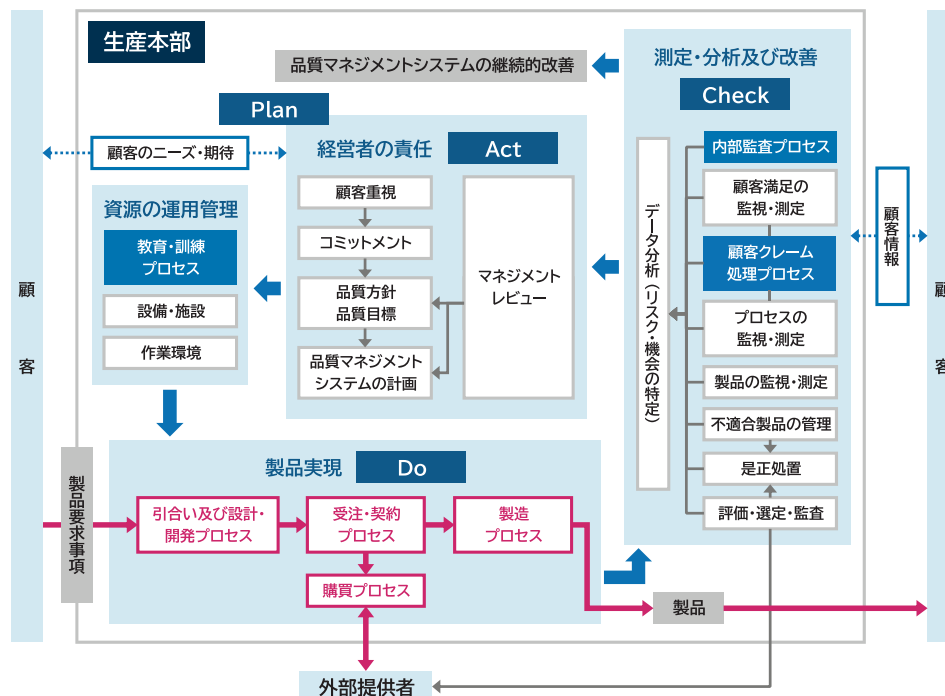


JQA-3168

【認証範囲】 生産本部

医薬品・化粧品などの包装材料及び添付文書の設計・開発及び製造
医薬品・化粧品容器などへのラベルの設計・開発及び製造

当社の品質マネジメントシステム図



環境対応製品・技術紹介

環境配慮型ラベル

環境配慮への意識の高まりを受け、さまざまな製品に貼られるラベルも製品とトータルでサステナブル化するための進化が求められています。当社では環境に配慮した材質、インキ、印刷方法などを取り入れたラベルを各種取り揃えることで、お客様からのニーズにお応えしています。



アサヒスマートカラー



アサヒスマートカラーはプロセスインキのみを使用して特色に近い色調の印刷を実現することができる印刷技術です。パッケージ印刷で多用されている特色印刷は製品毎にインキを交換して印刷を行うため、インキだけでなく洗浄用の溶剤の使用量も多くなります。共通のインキを使用することで一製品

ごとに行っていたインキの交換が不要となり、インキ・溶剤の廃棄量を減らす事ができるため特色を使用する印刷と比較して環境負荷を低減できます。

表示拡大パッケージ

消費者への情報伝達ニーズの高まりを受け、パッケージの内側に表示スペースを付加した表示拡大パッケージを開発しました。冊子状の表示スペースを備え、直感的な読みやすさと表示できる情報量の多さが特徴です。また側面から大きく開封することで内容物の出し入れが簡単に行えます。パッケージに表示できる情報量が増えたことでこれまで同梱していた説明書の削減ができ、製造工程と資材管理の効率化に寄与します。



事業継続計画 (BCP : Business Continuity Plan)

当社の生産体制は市場別・製品群別に分けた工場体制を構築しており、グループ各社と合わせて同仕様製品を複数の生産拠点で製造できるよう機械設備を設置しています。

また、これまで富山市に集中していた当社の工場立地状態に鑑みて、2015年8月に京都府木津川市に新たな製造拠点として京都クリエイティブパークを新設しました。これによって、富山地区と連携した供給体制の構築が可能となりました。また2021年4月より京都クリエイティブパーク西棟も稼働し、製造拠点の効率化、BCPの強化に寄与しております。



外部認証機関への参加

当社では、CDP、EcoVadis、Sedexの3つの国際的なESG外部認証機関に参加し、お客様とのサプライチェーンの中で、自社のCSR活動を向上させています。毎年、積極的にPDCAサイクルを回し、CSR活動を推進していく中で、EcoVadisの評価システムで今年度はブロンズメダルを取得しました。今後も外部評価サービスを活用しながら、全社の課題を洗い出し、課題解決に向け取り組んでまいります。



小集団活動

社内では、少人数のチームに分かれて小集団活動を実施しています。業務改善・品質改善・3Sなど様々なテーマで活動しており、年に1回各部門から代表チームを選抜して、小集団成果発表会を実施しています。優秀な活動内容については表彰しており、各チームともに工夫を凝らし、熱のこもった発表をしています。



Topic…RFID ～ 個品管理への活用による効率化、課題解決 ～

RFID (Radio Frequency Identification) とは、電波を利用した自動認識技術です。この技術を用いることで、個体識別が可能な情報もRFIDタグに読み書きできます。

920MHz帯の電波に対応したタグは、専用の読取り機にて大量のタグを一括でまとめ読みすることも可能となります。この特性を利用して、棚卸作業の効率化や在庫管理の精度向上、出荷処理の迅速化、さらには不正流通・偽造の防止など、幅広いシーンでの活用が期待されています。

当社では、RFIDタグ付きラベルなどの包装資材のご提案を通じて、お客様の課題解決に貢献してまいります。





CSRテーマ 従業員満足の向上

私達は、従業員が安心して働くことができる、安全・健康に配慮した職場環境を整備し、従業員の意欲向上につながる制度や人材開発のための教育体系を整備することで、従業員満足度の向上を推進します。

課題		2024年度目標	2024年度実績	評価	2025年度目標
ワークライフ バランス の取れた働き方	①有給取得率の向上	取得率75%	72.7%	○	取得率73%
	②平均残業時間の維持・改善	月15時間以内	14時間	○	月13時間以内
	③男性の育休取得率	前年実績90.0%以上	取得率84.2%	○	男女通算90%以上
	④多様な働き方をサポートする制度設計	育児時短勤務 利用可能の延長	意見聴取に とどまった	×	現状以上
ダイバーシティに よる会社の活性化	①女性活躍の推進（係長級以上の登用）	対象職種的女性比率 10%以上	7.9%	△	計画期間 平均10%以上
	②障がい者法定雇用率の維持	法定雇用率の維持	雇用率3.17%	○	水準維持
	③外国人の採用（技能実習生を除く）	1名以上の採用	0名	×	1名
	④高齢者活用の促進	再雇用率90%以上	91.7%	○	水準維持
	⑤ダイバーシティを推進する制度設計	行動計画の改定	改定完了 ※Topicsにて	○	内容の充実
安心して働ける 職場環境の整備	①従業員の健康維持：健康診断受診率	受診率100%	受診率100%	○	水準維持
	②休業労働災害 0件の達成	0件	1件	×	現状以上
	③新任管理職へのハラスメント研修	実施率100%	実施率100%	○	水準維持
	④相談窓口対応	案件対応率100%	案件対応率100%	○	水準維持

「評価方法について」表における数値の評価は、実績値と目標値の比率によるものとなります。（○：80%以上、△：50%以上～80%未満、×：0～50%未満）

健康管理への取り組み

当社は、従業員が心身ともに健康でいられるように2018年より健康経営をスタートしました。その取り組みが評価され、日本政策投資銀行によるDBJ健康経営（ヘルスマネジメント）格付グレード（1）を2018年3月に取得いたしました。より積極的に取り組むため、同年6月に全国健康保険組合が健康づくり優良企業に認定する「健康企業宣言」で、2019年6月にStep 1（銀）の認定を受け、更に取り組みを進め2020年3月にStep 2（金）の認定と評価を受けました。そして、2023年3月には日本政策投資銀行より「従業員の健康配慮への取り組みが優れている」とDBJ健康経営（ヘルスマネジメント）格付グレード（2）の評価をいただきました。

また、経済産業省が創設した健康経営の顕彰制度における大規模法人部門にて「健康経営優良法人」の認定を5年連続でいただいています。



健康経営宣言



健康経営優良法人



DBJ健康格付

経営トップによる健康宣言

「健康経営宣言」

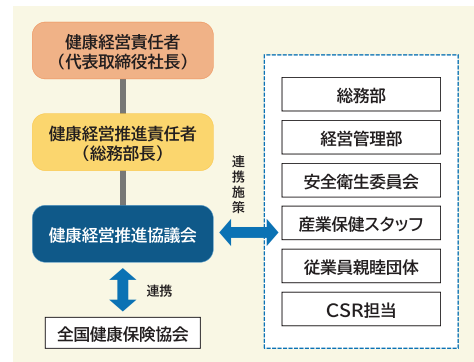
朝日印刷グループは、美と健康に関する事業を展開する企業として、従業員の健康を重要な経営資源、企業活力の源泉として捉え、「健康経営」の実現に向けた取り組みを推進します。朝日印刷の経営理念実践と企業価値の向上を追求し続けるためには、会社の財産である従業員一人ひとりが、心身ともに健康で、仕事も家庭も充実した健やかな毎日を送ることができる環境づくりが大切です。働きがいのある笑顔溢れる企業を実現するため、「健康経営」の取り組みを経営方針として位置づけ、会社、従業員親睦団体、従業員とその家族が一体となって、健康の保持・増進、ワークライフバランス充実、職場環境の改善に取り組んでいくことを宣言いたします。

令和2年3月 朝日印刷株式会社

健康経営の推進体制

「健康経営推進協議会」を設置し、代表取締役社長を健康経営責任者とする推進体制を整備しました。

協議会においては、従業員の健康課題の共有や取り組み計画の策定などを行い、関連部門や安全衛生委員会、産業保健スタッフ、従業員親睦団体とも連携しながら取り組みを実行していきます。



健康経営の重点方針

健康経営を推進するにあたっての特に重要視する方針として3つのことを定めています。

1. 従業員自身が自立的に健康の保持・増進に取り組むことを積極的に支援します。
2. 従業員とその家族が笑顔で過ごせるように、会社、従業員親睦団体、従業員とその家族が一体となって、ワークライフバランスの充実と心身の健康づくりを推進します。
3. 働きがいのある企業の実現により、従業員の活力と企業価値の向上を追求します。

健康経営の数値目標

健康経営推進におけるKPIとして「心身の健康の保持・増進」及び「働き方改革」に係る以下の10項目を設定し、進捗の確認及び目標達成に向けた取り組みを進めていきます。

		現状		
		2024年度	2025年度	2026年度
(1) 健康診断受診率		100.0%	100.0%	100.0%
(2) 肥満※1	男性	26.8%	25.0%	24.0%
	女性	13.2%	12.5%	11.5%
(3) 脂質リスク※2		23.8%	22.5%	22.0%
(4) 血圧リスク※3		10.3%	10.0%	9.5%
(5) 血糖リスク※4		10.5%	9.5%	8.0%
(6) 特定保健指導の該当者率		15.0%	14.5%	14.0%
(7) 喫煙率		21.8%	21.0%	20.0%
(8) 1か月以上の休業者発生率		0.16%	0.13%未満	0.13%未満
(9) 時間外労働(平均残業 時間/月)		14時間	13時間以内	13時間以内
(10) 有給休暇取得率		72.7%	73.0%	73.0%

※1 BMI \geq 25kg/m²の割合
 ※2 中性脂肪300mg/dl以上またはLDL-C140mg/dl以上またはHDL-C40mg/dl未満
 ※3 収縮期血圧140mmHg以上または拡張期血圧90mmHg以上
 ※4 空腹時血糖110mg/dl以上またはHbA1c6.0%以上

安全衛生への取り組み

私達は「人命尊重」を基本理念として、朝日印刷で働く全ての人の安全と健康を確保することを企業活動の基盤とし、全ての人が参加するカタチで、安全・衛生活動を推進し、「安心して働くことができる職場」を実現してまいります。

安全衛生委員会による職場の安全衛生の維持改善

当社は、全社を管轄する中央安全衛生委員会の下部に各事業所での安全衛生委員会を設置し、全社で安全・衛生方針の浸透と、各職場に応じた安全・衛生活動を推進しています。

職場のリスクアセスメント活動の推進

労働災害を発生させない「安心して働くことができる職場」を実現させるための取り組みとして、機械設備及び化学物質のリスクアセスメントを実施しています。

職場内の危険性や有害性のリスク低減措置を講じていくことで、職場内に潜む危険の芽を摘み取り、本質的な安全対策を推進しています。



働きがいへの取り組み

人事考課のフィードバック面接

当社では、従業員一人ひとりと人事考課成績のフィードバック面接を実施しています。これによって、会社業績への貢献度や今後の成長について上司と話し合うことで、会社と従業員がお互いに成長している姿を目指しています。

従業員イベント

従業員の親睦団体により、ボーリング大会、ソフトボール大会、ハイキング、クリスマスパーティーなどのイベントが開催され、多くの従業員が参加しています。



人材育成への取り組み

教育・訓練(人材育成)に関する基本的な考え方

当社は、階層別・職種別に教育・訓練を定期的に実施し、各人の役割を担えるようにレベルアップに取り組み、会社の業績貢献ならびに全ての利害関係者の信頼に繋げています。

朝日教育委員会

当社は、朝日教育委員会を設置し、新しい研修の企画や既存の研修内容のブラッシュアップをすることで、未来に活躍できる人材の育成に取り組んでいます。

教育体系

当社は、明日の当社を担う人材を育てるため、様々な研修プログラムを実施しています。



	集合教育			通信教育	資格取得	外部研修
	専門教育	マネジメントスキル	ヒューマンスキル			
管理職	○	○	—	○	—	○
監督職	○	○	—	○	—	○
上級	○	—	○	○	○	○
中級	○	—	○	○	○	○
初級	○	—	○	○	—	○

Topics:より多様な人材が活躍しやすい会社へ

2025年度より、ダイバーシティに関する行動計画を改定致しました。主な目標は次の通りです。

女性活躍推進	管理・監督者における女性比率を計画期間平均10%以上とする。
次世代育成推進	対象者の計画期間平均育児休業取得率を90%以上とする。
女性活躍・次世代育成共通	全社員の時間外・休日労働時間の平均を各月13時間以内とする。育児と仕事を両立しやすい働き方の選択肢を増やす。

年度ごとの具体的な取り組みは、当社ホームページで公開しております。これらの取り組みを通して、多様な人材が活躍できる風土の醸成と制度の構築、また、多様な知識・経験のある人材を育成していきます。



CSRテーマ 公正で透明性の高い経営

私達は、上場企業として企業倫理の徹底をはじめ、内部統制を整備し、公平で透明性の高い経営を推進します。

課題		2024年度目標	2024年度実績	評価	2025年度目標
ガバナンス	①法定業務の遅延なき開示の実施及び違反ゼロ	違反0件	違反0件	○	違反0件
	②取締役会での勉強会の実施	年1回以上の実施	2回	○	年1回以上の実施
リスクマネジメント	リスクの抽出・改善計画を作成し実施	計画達成率100%	計画達成率100%	○	計画達成率100%
コンプライアンス	①新入社員への教育実施	計画達成率100%	計画達成率100%	○	計画達成率100%
	②全従業員への教育実施	計画達成率100%	計画達成率100%	○	計画達成率100%
サプライヤーとの関係構築	①調達基本方針に沿った購買活動の実施	主要取引先への実施・課題抽出	取引先54社に実施、アンケート内容の見直し	△	主要取引先への実施・課題抽出
	②お取引先様へのアンケートによる課題の抽出	主要取引先へのアンケート実施	回答率100%	○	主要取引先へのアンケート実施
	③法令違反なし	違反0件	違反0件	○	違反0件

「評価方法について」表における数値の評価は、実績値と目標値の比率によるものとなります。(○：80%以上、△：50%以上～80%未満、×：0～50%未満)

コーポレートガバナンス

基本的な考え方

当社のコーポレート・ガバナンスの目的は、効率性及び透明性のある経営を行うことで、全てのステークホルダーにとっての企業価値を持続的に高めることであると考えます。

企業の最も重要な使命は、株主からの負託に応えることではありませんが、同時に、従業員、取引先、地域社会等株主以外のステークホルダーに対しても責任を果たし、社会から信頼されなければなりません。このようなことを踏まえ企業活動を行うには、コーポレート・ガバナンスの充実が、経営上の重要課題であると考えております。

そのためには、コンプライアンスを重視し、的確な経営の意思決定及びそれに基づく迅速な業務執行並びに適正な監督・監視が可能な経営体制の構築が必要であると考えております。

また、経営の透明性の見地から、迅速で適切な情報開示も必要と考えております。

基本方針

- 株主の権利・平等性の確保に努めます。
- 株主以外のステークホルダー（お客さま、取引先、債権者、地域社会、従業員等）との適切な協働に努めます。
- 適切な情報開示と透明性の確保に努めます。
- 透明・公正かつ迅速・果敢な意思決定を行うため、取締役会の役割・責務の適切な遂行に努めます。
- 株主及び一般投資家との建設的な対話に努めます。

朝日印刷グループ調達基本方針

私達は、「すべてのお客様は大切なパートナーである」との考えに基づき、お取引先に対し、誠実な対応を行うことを心掛け、以下の方針に沿ってCSR購買活動を行います。

健全な事業活動や社会的責任を果たすために、重要なパートナーであるお取引先様にも弊社の調達に関する基本的な考え方をご理解いただき、ご協力いただくことが不可欠と考えています。

お取引先様と共同でCSRを推進すべく、方針に則った活動をお願いしています。

朝日印刷グループ調達基本方針

1. お取引先との継続的なパートナーシップの構築

私達は、お取引先とは長期的な信頼関係を構築し、良きパートナーとしてともに繁栄、存続していく共存共栄の関係を目指します。

2. 公正かつ公平な取引

私達は、お取引先の選定にあたり下記項目を総合的に評価し、国内外を問わず、新規希望者に対しても公平な機会を提供し、お取引先とは対等な関係で真摯に対応します。

- 共に発展していける信頼性
- お取引先の技術力
- 情報提供力
- 購買品目の品質、価格、納期など

3. 安定調達とリスク管理

私達は、購買品の安定調達のために、適切な基準に基づいた発注を行い天災・事故などの不測の事態にも備えた購買バランスを目指します。

4. 法令や社会規範の順守

私達は、購買品の調達に関連する法令・社会規範を順守し、知的財産権を侵害しません。また、反社会的な組織との取引は行いません。

5. 環境保全

私達は、環境保全に取り組むため、お取引にあたり、地球に優しい「グリーン調達」に努めます。

6. 情報管理

私達は、お取引において知り得た情報は、下記の通り機密事項として取扱います。

- お取引先、自社、第三者の個人情報を秘密として保護します。
- お取引先、自社の機密事項を適切に管理し、漏洩防止に努めます。

7. お取引先とのCSR活動

私達は、調達活動において企業の社会的責任（CSR活動）を意識し、コンプライアンス・人権尊重・労働基準・グリーン調達などをお取引先選定の基準のひとつとし、お取引先とともに協力して持続可能な社会の発展に貢献します。

「ホワイト物流」推進運動の自主行動宣言

当社は、国土交通省・経済産業省・農林水産省が提唱する「ホワイト物流」推進運動に賛同し、自主行動宣言を提出しました。



1. 「ホワイト物流」推進運動とは…

深刻化が続くトラック運転者不足に対応し、国民生活や産業活動に必要な物流を安定的に確保するとともに、経済の成長に寄与することを目的に、次の点に取り組む運動です。

1. トラック輸送の生産性の向上・物流の効率化
2. 女性や60代以上の運転者も働きやすい、より「ホワイト」な労働環境の実現

2. 朝日印刷の自主行動宣言について

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

(取組方針)

- ・事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組みます。



(法令順守への配慮)

- ・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。

(契約内容の明確化・遵守)

- ・運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。
- ・当社では、2015年より製品輸送の標準化・輸送品質の向上を目指した、物流改革を進めて参りました。この取り組みは、今回のホワイト物流推進が目指している事項と合致しております。当社における物流改革への取り組みを更に進めてまいります。

「ホワイト物流」推進運動ポータルサイト…<https://white-logistics-movement.jp>

富山SCMセンター倉庫

2022年4月より稼働している当社物流拠点の富山SCMセンター倉庫は、電動移動式ラックを導入し、保管効率を高めた仕様となっております。物流基盤の安定と強化をはかり、ホワイト物流賛同企業としての活動を今後も推進してまいります。



朝日印刷グループ情報セキュリティ基本方針

私達は、当社の事業活動の中で取り扱う全ての情報について、ステークホルダーと弊社の情報資産を守り、社会から信頼される企業であり続けることを目指して、以下の方針に沿って事業活動を行います。

1. 法律及び社会倫理の遵守

私達は、情報セキュリティに関する法及び社会倫理を遵守して参ります。(個人情報に関しては、その重要性を鑑み、別途、個人情報保護方針を定め、その保護に努めます)

2. 管理体制

私達は、情報資産を適切に保護・管理するために必要な管理体制を構築します。

3. 継続的改善

私達は、情報資産の取り扱いを継続的に改善するよう努めます。

4. 教育・訓練活動

私達は、情報セキュリティの重要性を認識し、本方針に関する教育・訓練を継続的にを行います。

5. 事故への対応

私達は、情報セキュリティ事件・事故が発生した際は、迅速に処理し、被害の拡大を防止します。また、早急な原因究明と再発防止策を含む適切な対策を速やかに実施します。

リスクマネジメントについて

私達は、事業を継続して社会に貢献していくために、グループ全体のリスクを把握・分析し、課題解決に向けた取り組みを行っています。

リスク管理委員会の設置

企業活動の持続的発展を阻害する業務執行に係るリスクをトータルに認識・評価し、適切なリスク対応を行うため、各部門責任者、グループ企業社長などを委員とする、「リスク管理委員会」を設置しています。「リスク管理委員会」ではリスク対応状況を把握・検討し、必要に応じた対策を指示しています。

サプライヤーアンケートの実施

当社は、お取引先の皆様に朝日印刷グループの調達方針をお知らせすると共に、お取引先様と相互に信頼関係を構築し、共にCSR活動に積極的に取り組めるようCSRアンケート実施しています。CSRアンケートの実施により、当社及びお取引様の取り巻く環境の課題抽出・解決を行っています。

昨年度も54社のお取引先様のご協力のもと、CSRアンケートを実施し、課題抽出を行いました。今後もサステナブルな社会の実現のため、サプライチェーン全体で、コミュニケーションをより深め、CSR活動に取り組んでまいります。





CSRテーマ 次世代へ受継ぐモノ作り

私達は、美しい地球を守ることの重要性を認識し、環境保全を意識したモノ作りを継続的に取り組みます。

課題		2024年度目標	2024年度実績	評価	2025年度目標
環境負荷低減 (生産本部)	エネルギー使用量の削減 (原油換算)	24kL以上削減	41kL削減	○	91kL以上削減
	CO ₂ 排出量の削減	44t-CO ₂ 削減	67t-CO ₂ 削減	○	191t-CO ₂ 削減
	リサイクル率の維持	95%以上の維持	97%	○	97%以上の維持
	生産現場での省エネパトロール活動の推進	計画実施率100%	計画実施率100%	○	計画実施率100%
環境法規制の順守	環境法令に関連する行政指導件数	0件	0件	○	0件
森林認証紙の使用比率の向上	森林認証紙の購入比率の向上	21%以上	21%	○	30%以上
CSR・SDGs教育の実施	CSR教育の実施 (新入社員)、CSR・SDGs教育の機会の創出	従業員向け教育の継続	教育実施新入社員	△	従業員向け教育の継続
朝日印刷グループ企業の社会的価値向上	グループ会社でのCSR活動の推進サポート	CSRワンスター認定 (ニッポー・阪本印刷) 森林認証 (ニッポー) EA21取得 (協和カートン)	子会社CO ₂ 排出量算定	○	維持・更新

「評価方法について」表における数値の評価は、実績値と目標値の比率によるものとなります。(○：80%以上、△：50%以上～80%未満、×：0～50%未満)

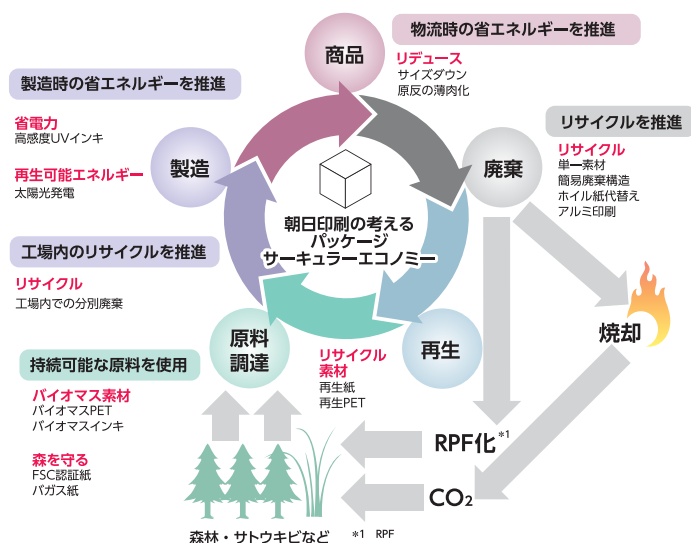
環境基本方針

私達は、美しい地球を守ることの重要性を深く認識し、「地球環境の保全」、「生物多様性」、「気候変動の緩和」、「持続可能な資源の利用」に配慮した企業活動を推進し、社会的責任を果たしていきます。

朝日サーキュラー

朝日印刷が考えるサーキュラーエコノミー (循環型経済)

朝日印刷は、包装というサーキュラーエコノミーの一部を担っています。CO₂削減、リサイクルの推進、認証紙の使用や化石由来の原料の非使用など、新しいエコロジー包装の開発に努めています。



ISO14001：2015認証取得

2002年よりISO14001の認証を取得し、環境マネジメントシステム(EMS)を構築することで、環境保全の取り組みを推進しています。環境委員会を組織し、環境に係る活動や情報を全拠点に展開しています。また、法令順守されていることを評価・確認する仕組みもEMSの中で構築しています。組織全体でより一層環境負荷の少ない材料の採用や生産設備の導入を進めて、環境負荷の低減に努めてまいります。



JQA-EM2115

【認証範囲】生産本部

- 医薬品・化粧品などの包装材料及び添付文書の設計・開発及び製造
- 医薬品・化粧品容器などへのラベルの設計・開発及び製造

各社の様々な認証取得

全印工連CSRワンスター認定

(朝日印刷・ニッポー・阪本印刷)

当社は全日本印刷工業組合連合会 (以下、全印工連) で認定されている、「CSRワンスター認定」を取得しています。グループ会社のニッポー及び阪本印刷も取得いたしました。



P-00038

エコアクション21 (協和カートン)

グループ会社の協和カートンでエコアクション21を取得いたしました。エコアクション21とは環境省が策定した日本独自の環境マネジメントシステムであり、環境経営システムに関する第三者認証・登録制度です。



今後もグループ一丸となって、様々な認証取得にチャレンジしてまいります。

取得した認証の維持・更新にも努めて、社会的信用の向上に繋がるとともに、グループ横断的に業務の効率化・経営の改善を図ってまいります。また、コンプライアンスの強化も実施し、サステナブルな社会の実現に努力してまいります。

全印工連CSRワンスター認定HP…http://www.aj-pia.or.jp/csr_main/
エコアクション21HP…<https://www.ea21.jp/>

森林認証紙

森林認証制度について

森林は紙の原料として、私達の生活を豊かにするために必要不可欠である一方、生物多様性の点からも適切な森林管理が求められています。適切な森林管理とその森林に由来する製品を認証する「森林認証」という制度があります。世界にはさまざまな認証制度がありますが、日本においては、内容の異なる次のような制度が普及しています。FSC® (Forest Stewardship Council®、森林管理協議会) PEFC (Programme for the Endorsement of Forest Certification Schemes、森林認証制度相互承認プログラム)

森林認証制度の仕組み

森林認証紙の銘柄は、多く販売されていますが、森林認証製品として認められるには、CoC認証を取得した印刷会社で製造された製品である必要があります。当社では、2009年にFSCのCoC認証 (SGSHK-COC-006077)、2012年にPEFCのCoC認証 (SGSJP-PEFC-COC-1561) を取得しており、10年以上に渡り活動を継続しています。また、当社グループ会社のニッポーでも認証を取得 (SGSHK-COC-350100) し、グループ全体で、お客様の多様なニーズに応えられる体制を整えています。



森林認証製品とSDGs

森林認証紙を採用することは、国連サミットで採択された持続可能な開発目標 (SDGs) の目標15「陸の豊かさも守ろう」に大きく貢献します。しかし、目標15だけではなく、貧困や飢餓、教育、平等、エネルギー、労働環境など様々な目標についても大きく貢献します。森林認証製品とSDGsの関係については下記、サイトでご確認ください。



FSC Japan HP…https://jp.fsc.org/jp-ja/FSC_Japan
PEFC HP…<https://sgec-pefc.jp/>

森林認証製品と当社の最近の動向

最近では、ESGやSDGsの観点から積極的に森林認証紙を採用していただけるお客様も増加しており、様々な業界に広がっています。当社は森林認証製品を通じて、サプライチェーン全体でSDGsへの貢献及び持続可能な社会の構築に努めてまいります。

グリーンボンド・レポート (2024年度)

2022年7月末までに調達資金の全額を借入金返済に充当完了いたしました。グリーンボンドによる資金調達に関連するレポートは下記の通りです。

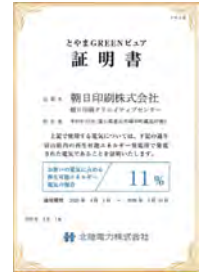
対象となる施設 (グリーンビルディング)	京都クリエイティブパーク西棟
対象となる施設の環境評価種類とランク	CASBEE® 建築(新築)B+ BEE 1.4
年間のエネルギー使用量	1,617 kL
年間のCO ₂ 排出量	3,059 t-CO ₂

※エネルギー使用量・CO₂排出量は京都クリエイティブパーク東棟も含む値となります。



とやまGREENピュア

朝日印刷では富山県内の営業拠点であるクリエイティブセンターにて「とやまGREENピュア」契約を北陸電力株式会社と締結しています。「とやまGREENピュア」とは主に北陸電力が富山県内に保有する水力発電所由来の電力の一部を契約した事業所に適応する電力料金メニューです。太陽光発電以外にも再生可能エネルギーを導入することで全社的にエネルギー問題に関心を持ってもらうねらいがあります。また、電力の地産地消及び持続可能性という観点からもサステナビリティについて考えるきっかけとなり、今後も化石燃料に依存しない、CO₂排出量を抑制する電力供給の在り方を会社全体で考えてまいります。



省エネルギー・省CO₂活動

最もエネルギーを使用する生産を中心に、あさひ省エネルギー委員会・省エネルギーチームを組織して、省エネルギーや省CO₂に関する課題への取り組みを推進しています。

富山県SDGs宣言

当社は積極的にSDGsに取り組むため、「富山県SDGs宣言」に参加しております。定期的に目指す姿勢を見直し、優先的に実施すべき取り組みを抽出しながら、効率的な行動をしております。また、それらの活動を「見える化」をし、広く情報を発信してまいります。

富山県SDGs宣言HP…
<https://www.sdgs-toyama.jp/>



従業員へのCSR・SDGs教育の実施

新入社員研修の一環で、SDGsカードゲームを実施しています。一方を得ようとすると、他方を犠牲にしなければならない「トレードオフ」と呼ばれるジレンマの関係の解消方法を、カードゲームを使いグループになって意見を出し合いました。「相手の意見を決して否定しない」というルールのもと、たくさんのアイデアが生まれました。今後も積極的に教育を実施し、全従業員でCSR・SDGsに取り組んでまいります。





CSRテーマ 社会との調和

私達は、美と健康に関する包装事業を通じ、豊かで快適な生活文化の創造に寄与する活動に参加することで企業使命を果たしていきます。

	課題	2024年度実績	活動概要
朝日国際教育財団を通じた活動	奨学金支給人数計画の達成	38名	留学生に対し奨学金を支給 ※詳細は朝日国際教育財団HPをご確認ください
社会貢献	①献血への積極的な協力・啓蒙活動	1回	11月2工場で献血実施
	②寄付活動	15件	地域行事、教育関連活動への支援
朝日印刷ビジネスサポートを通じた活動	①障がい者の正社員雇用の継続・維持・拡大	新規採用 3名	障がい者雇用率3.24% (法定雇用率2.5%以上)
	②講演活動の実施	4回	地域における障がい者雇用推進に向けた講演活動
	③就業体験・企業見学の受け入れ	17件	障がい者の社会的・職業的自立を目指した活動
学習教育・就労体験	①中学生の工場見学の受け入れ	1回	講義・見学・箱組立体験を実施
	②機電工業会を通じた中学校への講師派遣	2回	ものづくり教育の一環として講師派遣を実施
	③大学3年生向け単独説明会	18回	インターンシップ・キャリア教育関連企画も年12回開催
情報発信	①IR活動(対面・WEB)	9回	投資家向け会社説明会等
	②CSR活動社内啓蒙発信	社内報	今後も定期的に発行予定
	③お客様とサステナビリティについての協議	13回	今後も要望に応じて、都度開催予定
社内イベント	①クラブ活動	11クラブ	従業員の福利厚生として実施
	②従業員親睦団体活動	従業員作品展・スポーツイベント	例年、クリスマス会やボウリング大会などを開催

公益財団法人 朝日国際教育財団

創業140周年記念で設立した公益財団法人 朝日国際教育財団では、富



公益財団法人 朝日国際教育財団

山県内の大学に在学するアセアン諸国及びその他海外からの有能な留学生に対する奨学援助を行っています。将来、若者たちの夢が叶うことを願い、奨学支援ならびに留学生の交流等を行っていきます。

公益財団法人朝日国際教育財団HP…<https://www.asahi-fie.com/>

国連グローバル・コンパクト

国連グローバル・コンパクト(UNGC)は、国連と民間(企業・団体)が手を結び、健全なグローバル社会を築くための世界最大のサステナビリティイニシアチブです。各企業・団体が責任ある創造的なリーダーシップを発揮することによって、社会の良き一員として行動し、持続可能な成長を実現するための自発的な取り組みです。UNGCに署名する企業・団体は、人権の保護、不当な労働の排除、環境への対応、そして腐敗の防止に関わる10の原則に賛同する企業トップ自らのコミットメントのもと、その実現に向けて努力を継続しています。当社は2021年6月、UNGCに署名しました。UNGCの原則に賛同する企業として、今後も引き続き、人権保護、不当な労働の排除、環境への対応、そして腐敗防止に関わる取り組みを継続し、その実現に向けて精進してまいります。

国際グローバルコンパクトHP…<https://www.ungcn.org/index.html>

日本ソーシャルフットボール協会とのパートナーシップ活動

フットボールを通じて「気持ちを表現する」、「お互いの違いを認め合い、みんなで楽しむ」ことを目的として、インクルーシブサッカーイベントを開催しました。この活動は特定非営利活動法人日本ソーシャルフットボール協会(以下、JSFA)とのパートナーシップによるもので、スポーツを通じて多様な考え方・あり方を理解し、偏見や差別のない世の中を目指しております。2024年は従業員とその家族の約20名が参加しました。2025年もJSFAと共に「つながり自分らしく生きていくことを尊重し合う社会の実現」を推進してまいります。



Topic…「朝日印刷ビジネスサポート株式会社」の紹介

朝日印刷株式会社 特例子会社

包むこころ・結ぶきずな



朝日印刷ビジネスサポート株式会社

朝日印刷ビジネスサポート株式会社は、障がい者雇用を目的とした朝日印刷の『特例子会社』です

会社概要

所在地	富山市婦中町板倉492番2(朝日印刷富山工場敷地内)	※朝日印刷ビジネスサポート株式会社は、2019年12月11日、「障害者雇用の促進等に関する法律」に基づく特例子会社として厚生労働大臣の認定を取得しました。
TEL/FAX	076-461-5377 / 076-461-5319	
資本金	3000万円(朝日印刷100%出資)	
従業員数	34名(うち障がい者27名)※2025年4月時点	
事業内容	親会社朝日印刷の生産サポート業務、清掃・緑地管理業務	



事業内容 >>> 社員一人ひとりが戦力として活躍できる場を提供していきます！

<p>段ボール組み立て</p>	<p>給紙</p>	<p>テンプレート清掃</p>	<p>清掃・緑地管理業務</p>	<p>情報システム関連業務</p>
<p>一斗缶廃棄作業</p>	<p>水性ニス版戻し作業</p>	<p>ペーパーラボ業務</p>		

ABS Sustainable Paper Factory

朝日印刷ビジネスサポートは、エプソン製乾式オフィス製紙機PaperLab(ペーパーラボ)の運用全般を担っています。設置場所であるABS Sustainable Paper Factoryの環境整備、材料となる古紙(保管期限の過ぎた製造記録用紙・使用済コピー用紙)の回収と検品作業、機械の操作や管理維持業務を主に行っています。再生した紙は、オフィスで使用するA4コピー用紙、お客様のもとへ行く出荷検査表、従業員の名刺などに活用しており、それらの受発注管理もこなしています。またアップサイクルの一環として、ノベルティグッズの開発にも力を注いでいます。最近では、工場見学のお客様対応にも積極的にチャレンジし、自分たちの作ったノベルティグッズを直接手渡しできる機会が増えました。障がい者雇用も一つの目的であったこの事業は、今では業務を遂行するだけでなく、スタッフ自らが積極的に作業の改善を提案し、行動できる場となっており、人材育成の場として大きな成果を発揮しています。



朝日印刷オリジナルノベルティグッズを作成しています！

PaperLabから生まれた再生紙を使って、卓上カレンダー(季節限定)、ノートやメモ帳などのノベルティグッズ製作をスタートしました。イラストデザイン・スタンプ押し・製本・断裁など、全工程を従業員が心を込めて作っています。完成したノベルティは、会社説明会で学生さんや、全国の営業を通じてお客様に配布・PRしています。富山工場にも設置していますので、ご来社の際は是非Sustainable Paper Factoryご見学とともにご自由にお持ちください。

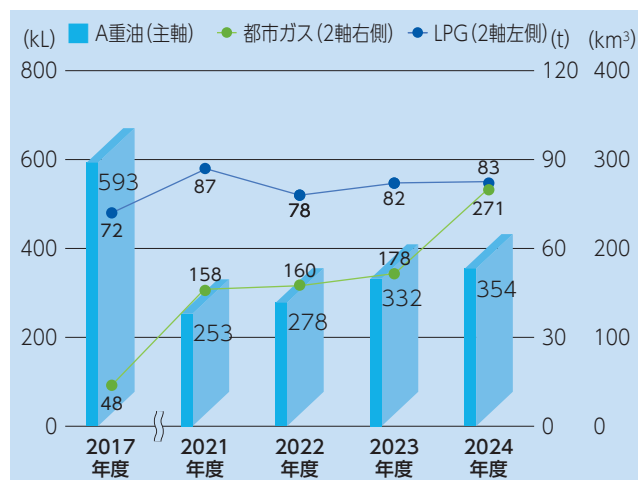


事業関連データ (朝日印刷単体)

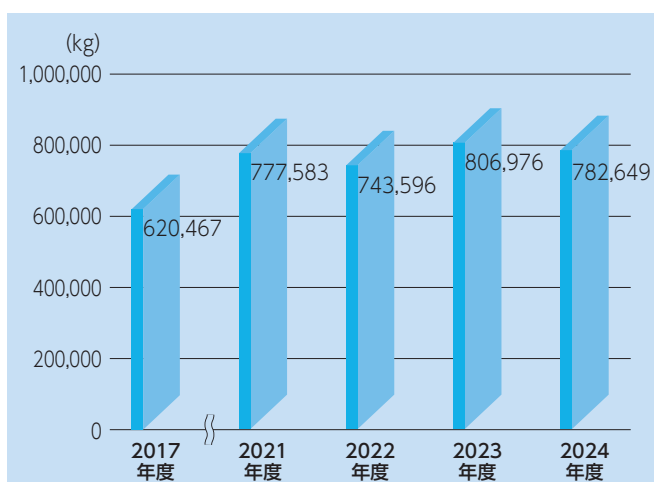
電力使用量



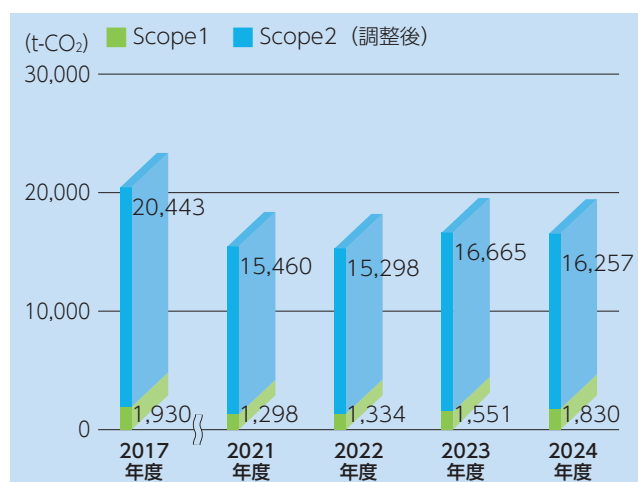
A重油・ガス使用量



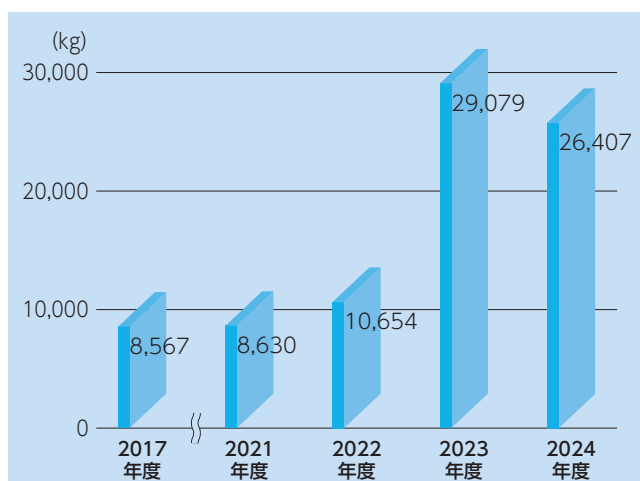
産業廃棄物排出量



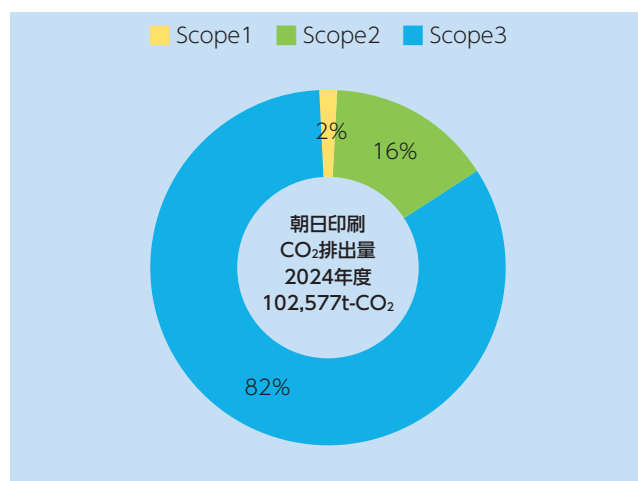
CO₂排出量



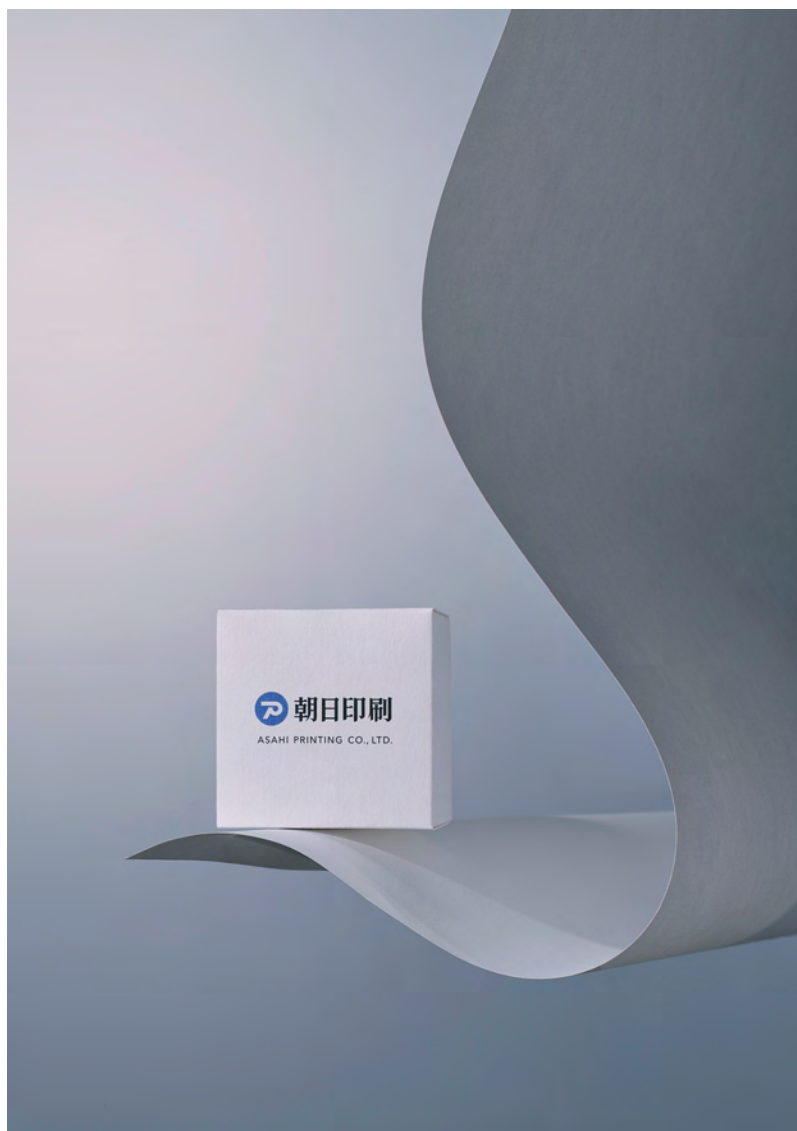
PRTR物質移動量



CO₂排出量 (Scope 1 ~ 3 : 2024年度)



※PRTR物質：化学物質排出把握管理促進法に基づいて、人や生態系への有害性が認められる物質として指定されているもの
2023年4月より化管法改正に伴い、該当物質が大幅に追加されております。



編集方針

2018年度にCSR活動方針を定め、CSR活動を本格的にスタートさせました。この度、多様なステークホルダーの方々とのコミュニケーションのツールとして「CSR報告書2025」を作成しました。こちらは、主に当社の非財務活動に関連するCSR活動についてご説明する年次報告書となります。

当社のCSR活動について、多くの方々に理解を深めてもらうために、今後も内容を充実させていきます。ご意見・ご感想がありましたらなんなりとお聞かせください。

報告対象組織

本レポートは、朝日印刷株式会社単体の活動報告となり、連結会社は一部のみとしています。連結会社も含めた報告は、今後の対応事項として検討を進めていきます。

報告期間

2024年04月01日 ～ 2025年03月31日
※実績データ以外の項目においては、2025年度の内容も含まれます。

参考ガイドライン

環境報告ガイドライン2018年度版(環境省)、ISO26000：2010

本書における注意事項

本書に掲載されている当社の計画、見通し、戦略、判断などのうち、過去の歴史的事実以外のものは、当社の将来の見通しに関する表明であり、当社の経営陣が現在入手可能な情報・仮定および判断に基づいて作成されており、様々なリスクや不確実性を含んでいます。従って、将来、実際に公表される業績は様々な要因によって変動する可能性があります。

朝日印刷株式会社

経営戦略室 CSR推進課

〒930-0061 富山県富山市一番町1番1号
一番町スクエアビル

TEL 076-421-1177

<https://www.asahi-pp.co.jp/>

発行 2025.07



本冊子のアンケートになります。
皆様のご意見をお聞かせください。

